

ダジックアースを活用した「月」の解説

明星大学理工学部総合理工学科物理学系

三浦飛未来

概要

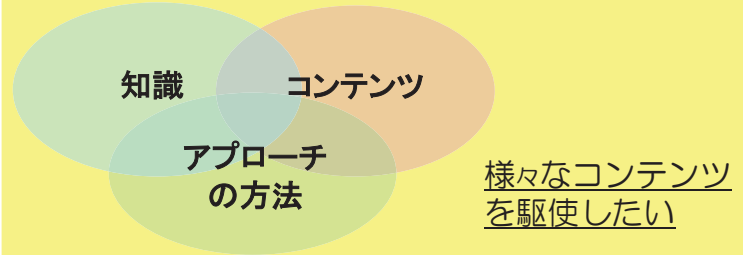
2018年の中で行ったダジックアースを活用した「月」の解説を実施。宇宙への興味のきっかけになることを期待しダジックアースを利用した活動を報告する。よく目にする月を探査から得た本物のデータを使用し、大きく映すことで改めて観察すると共に、球体であることを実感してほしいと考えた。

期待される効果

- ・インパクトがあるため記憶に残りやすい
- ・天体を立体的に視覚で感じてもらうことで球体であることを実感できる
- ・宇宙と天体の大きさや迫力を感じることができる

活動理念

- 「宇宙の謎を解き明かす」
- 「研究者が安心して研究が出来る国民の理解」
- 「天文教育普及活動」



事例1.国立天文台定例観望会

実施日 1月27日(土)

実施者

- 定例観望会学生メンバー
- 国立天文台天文情報センター職員
- 解説：三浦

内容

定例観望会の観望天体についての解説にて月の模様や・構造・裏側との違いについて解説

参加者の反応

5段階評価アンケート (76人回答)

5(10) / 4(37) / 3(23) / 2(6) / 1(0)・・・3.62

- ・解説に参加された方の多くがダジックアースに映された月を撮っていた
- ・見た瞬間の反応・つかみは良好
- ・「資料の内容が濃すぎる」
- ・ダジックアースの弱点である縁の部分や角度が違おうと見えなくなることを考慮できていなかった
- 十分な距離が必要

事例2.国立天文台定例観望会

実施日 2月24日(土)

実施者

- 定例観望会学生メンバー
- 国立天文台天文情報センター職員
- 解説：三浦

内容

定例観望会の観望天体についての解説にて月をメインとした宇宙探査や天文学の歴史についての解説を実施

参加者の反応・反省

5段階評価アンケート (67人回答)

5(43) / 4(19) / 3(4) / 2(1) / 1(0)・・・4.55

- ・「講義の大きいボールを使った解説が面白かった」
- ・「映写機(丸い大きいやつ)での説明がとてもよかった」
- ・「講義室での解説が8歳の子には難しかったようです。もっと簡単な言葉で話してくれるといいです」
- ・写真を希望する方がいた
- ・参加者が大学での天文教室(事例3)に出席されていた
- 覚えてくれていた!!!



参加者の写真撮影の様子

事例3.明星大学夏休み親子体験教室

実施日 8月2日(木)

実施者

- 明星大学図書館
- 明星大学理工学部総合理工学科 准教授 小野寺幸子
- 明星大学天文愛好会「すばる」

内容

- ・明星大学図書館主催、企画展「コペルにクスとガリレオ」見学をふくめた天文教室を実施(天体の解説、望遠鏡工作、見学)
- ・ダジックアースを使った宇宙・月・太陽の解説を一人ずつ担当

参加者の反応・反省

- ・天文教室での解説の様子から児童の声が上がったり、自然と質問が飛んでくるなど、ダジックアースへの反応は良好
- ・迫力ある様子を感じてくれていた
- ・「コペルニクス・ガリレオについてなんとなく知っているという感じでしたが、今日の説明・プログラムを通じ、もっと深めたいと関心を持つことができました。大変すばらしかったです。」
- ・事前準備・リハーサル不足
- ・20分のプログラムの中での一人当たりの話す時間がバラバラだった

今後の展望

三鷹市にて毎年行われる*「星マルシェ」では天文関連のグッズやフードの出店、物作り教室などを実施。4次元デジタル宇宙ビューワー「mitaka」で宇宙旅行というブースでの利用を検討。宇宙の話に加え、月をふくめた天体の話を構想中。

*星マルシェ・・・

毎年11月に行われる三鷹中央通り商店街と宇宙カルチャー推進協会が主催する宇宙イベント。出店やミニ劇場、ワークショップなど様々なブースを用意。2018年の実施では約2700人の方々に来場いただいた。



今年の実施の様子(2018年11月25日)